

甘木朝倉 介護保険事業者 協議会 会報

甘木朝倉介護保険事業者協議会 会報
Vol.15 平成16年10月1日発行 第5巻第3号(通巻第15号)

Vol.15

「ごあいさつ」

福岡県介護保険広域連合
朝倉支部事務長 太田 善文



介護保険制度発足以来5年目を迎え、施行しながら制度を補完して来ている状況の中にも係わらず草創期より、甘木朝倉介護保険事業者協議会を設立され、介護保険事業の円滑な運営に取り組まれている各事業所の方々に敬意を表するところでございます。

さて、介護保険をとりまく状況は、高齢化人口の増により要介護認定者の増加を伴い必然的に介護給付費を押し上げ、平成16年度の国の予算に置いては5.5兆円が計上され更に、平成25年には20兆円が見込まれています。

介護給付費を支える財源は、公費(国・県・市町村)と保険料(第1号・第2号被保険者)で50%ずつ負担し財源の確保をしていますが、現在の経済情勢の中では、財源を確保していくことが非常に厳しい状況となっています。

介護保険広域連合についても、平成15年度の給付実績前年度対比約5%の伸びとなっており、要支援や要介護度1の方々を中心に給付費が伸びてきており、これは全国的な傾向と同じように推移してきているところです。

スタート前の措置の時と比べ利用者にとっては、利

用しやすい制度として定着してきた結果ではないでしょうか。しかし、今後は、本当に必要な方に必要なサービスを安定的に提供し得る状況を維持していくためどうすべきかが焦眉の課題となっています。

制度施行後、5年目を目途に介護保険全般に関して検討を加え、その結果に基づき見直し等の措置を行うこととされています。現在、厚生労働省の社会保障審議会介護保険部会において、自立支援という制度本来の趣旨に立ちサービスが提供され続けることを確保し、制度として持続可能なものとするため介護予防、痴呆ケア・在宅重視の新しいサービス体系、被保険者・受給者の拡大、市町村の権限強化など、多岐にわたり審議が行われこれから取りまとめが行われようとしています。この部会には、介護保険広域連合の山本連合長も委員として参画されているところです。

いずれにしましても、試行錯誤しながら公的な介護保険制度として成熟していくため、新たな変革の時代にさしかかろうとしており、介護保険に携わるものにとってもより専門的な知識が求められようとしている中、事業者協議会の果たす役割は多大なものがあり、更なる協議会のご発展をお祈り申し上げます。

事業報告

第1回スタッフセミナー 「高齢者の排泄障害について」



▲講師 高野 正博先生

8月27日(金)午後6時30分より、甘木市役所別館において平成16年度介護支援専門員圏域別現任研修が開催されました。(参加者総数150名うちケアマネージャー60名)

講師として特定医療法人社団高野会理事長である高野正博先生をお招きし、『高齢者の排便障害について』をテーマに講義をしていただきました。

まず、便秘とは？何らかの原因により糞便が大腸内に長時間停留し排便が順調に行われず便が硬くなり不快感や苦痛を伴うことだそうです。

高齢者の便秘の原因として、

1. 腸管の機能の低下、腹圧の低下
2. 胃・結腸反射の減弱
3. 食事量の低下、消化吸収のよい食事の摂取
4. 水分摂取量の減少
5. 運動量の減少
6. 精神的、情緒的に不安定
7. 基礎疾患(大腸がん、大腸ポリープ、腸閉塞、痔など)
8. 他の薬の副作用(降圧剤、利尿剤、胃腸薬、抗うつ剤など)があるそうです。

便秘の多方面治療として薬物、食事、運動、心理療法があるとのことでした。

薬物についてセンナ系下剤を連用し続けた結果、腸が絞られすぎて大腸がんになった事例をスライドで見ました。こうなる前に緩下剤や腸管運動促進剤、けいれん除去剤に切り替える必要があることを初めて知りました。食事について「第六の栄養素」ともいわれている食物繊維を充分にとること。それによって便をやわらかくし、糞便量を増加させ有害物質や毒素を体外に排出するなどメリットが沢山あります。

高齢者の場合、運動は無理のない程度で行うことはもちろんの事、腹部マッサージを行うことも有効でスライドにて方法を学びました。

心理的には十分な休養や趣味など人生の楽しみをもつことで、便に対する執着心がやわらぐとのことでした。

便失禁に対しては、肛門の筋肉をしめる訓練を行い、肛門括約筋を強くするBF(バイオフィードバック)療法があるそうです。これは、専用のモニターで肛門をしめる力を確認しながらトレーニング出来るそうです。

今後、排便障害でお困りの患者様が一人でも多く治療に取り組んでいけるよう働きかけをしていきたいと思えます。

今回の研修にて、日常生活における排便コントロールがいかに大切であるか又、スタッフ間の知識だけでなく患者教育も必要であることを強く学んだ研修でした。

最後になりますが、共催でご尽力いただきました朝倉保健福祉環境事務所の皆様に、厚く御礼申し上げます。

(記 広報部 空閑優子)

「スタッフセミナーに参加して」

杷木ケアプランサービス介護支援専門員 池田 由加里

8月26日の午後6時30分より甘木市役所別館2階において、特定医療法人社団高野会理事長 高野正博先生の「高齢者の排便障害について」の講演が行われました。日勤の業務終了後の遅い時間でしたが多くの参加者の中に混じって参加させていただきました。先生は、素人の私たちにもわかりやすいように、まず解剖生理から説明され、大腸や小腸などは聞いたことはあったものの支配する神経反射が排便に関して重要な役割をはたしているなど、細かく説明されて大変勉強になりました。便秘の増悪因子としては、乱れた食生活や運動不足、精神ストレス、センナリド系の薬の長期利用など述べられました。便が出ないとつい頼ってしまうセンナリド系下剤を長期服用することで排便を司る神経が痛めつけられ、腸自体が黒色に変化してしまうことを内視鏡の写真と共に説明され、かなりびっくりさせられました。排便困難状態から脱出するには、まず朝起きて冷たい水を飲み排便神経を刺激して、トイレに座る習慣をつけることで始めのうちは出ないが続けていくうちに便が出るようになる」と説明されました。それでも出ないときは、運動、食事療法、薬



▲質疑応答される池田由加里さん

剤を緩下剤系から始め、また神経系がだめな場合は、特殊な療法による肛門筋の収縮訓練もある」と説明されました。

今回この研修に参加して、日ごろから食事と排便は切っても切れないもので、専門の先生からの最新の治療方法の説明を受け、自分たちが行ってきた薬に頼る方法を見直す機会となり、今後の活動に役立てて生きたいと思います。高野先生大変ありがとうございました。また、この研修を企画運営してくださったスタッフの皆様には感謝いたします。



▲セミナー風景

訪問介護部会

部会長 坂口 美雪

—第16回部会内容—

1. 平成16年度年間計画について
2. 介護保険制度下のヘルパーの立場、役割について
3. <各事業所での取り組み>
 - ・介護保険制度の研修は行なう
 - ・介護保険が変わった時はケアマネに指導してもらう
 - ・介護保険内でできるのか?
例)あまり物を言わない利用者が、一緒に卓球をして欲しい
↓
ケアマネジャーと検討中
他事業所=例がないので分からない
 - ・物を貰う=食べる物は事務所に持ってきて皆でいただく
↓
それ以外はキツパリと断る
4. <スタッフ間の連携>
 - ・毎日のミーティング
訪問に入る前にショートミーティングを行なう
 - ・登録さんも、訪問がある時は必ず事務所に顔を出している
 - ・口頭で報告よりも記録で申し送る。専用ノートを作っている。読んだら必ず自分のサインを記入。
 - ・ヘルパーさんが直接、利用者の情報をケアマネジャーに報告することもある
5. <ケアマネへの提案>
 - ・殆ど現場から報告をしている。それに合わせながらプランを立てているので問題なし。
6. ヘルパーの知恵袋
 - (ア)掃除のコツを、利用者に教えると喜ばれる
 - (イ)竹の子ごはんの具は多めに作り、小分け冷凍しその都度解凍して熱いごはん混ぜる

—第17回部会内容—

1. 調理実習(グループホーム部会と合同実施)
船越 知美氏 栄養指導
スピードクッキング
調理実習
 - ・焼き茄子のだしかけ
 - ・山芋のすり流し汁夏場の保存方法
細菌性食中毒の予防
 - ア 原因菌による汚染を防ぐ
 - イ 原因菌を増殖させない
 - ウ 摂取前に加熱する 等々
2. 次回開催
平成16年11月8日(月) 場所:未定
日常生活における基本動作
福祉用具を使用した移乗介助
ヘルパーの知恵袋

第16回開催H16.4.12 全12事業所中10事業所、13名参加
内訪問入浴部会 2事業所中1事業所、1名参加

第17回開催H16.7.10 全12事業所中9事業所、40名参加
内グループホーム部会 全6事業所中5事業所、14名参加

訪問看護部会

部会長 空閑 優子

—第23回部会内容—

1. 安全で安楽な在宅療養の実現へ
日本看護協会より[人工呼吸器装着中の在宅ALS(筋萎縮性側索硬化症)患者の療養支援訪問看護従事者マニュアル]が作成できました。
本会公式HP(www.nurse.or.jp/)に掲載。
2. 今後の目標
他職種との連携を密にとり訪問看護がスムーズに行えるよう努力していく。
3. 次回開催予定
10月12日(火)15時よりめぐばーる三輪

第23回開催H16.7.6

全3事業所、3名が参加

通所介護部会

部会長 田中 晋作

—第17回部会報告—

1. 事業所紹介
各事業所ごとに現状、現在取り組んでいる事等を付け加えて紹介してもらった。
2. 8月研修会「介護保険について」の講師選任
介護保険制度改正の可能性がある為、新介護保険制度が固まるまで研修会延期。
講師選任も延期。
3. その他(意見交換)
利用者の食べ物の持ち込みについて
*次回通所介護部会
平成16年8月20日(金)開催予定

—第18回部会報告—

1. 記録物(業務日誌、ケース記録、配車表等)について
各事業所ごとに事前にFAXして頂き準備した記録物の説明及び質疑応答。
2. 拡大会議報告
3. 次回開催日
平成17年1月予定
4. 意見交換
記録物についての質疑応答(議題1の補足)

第17回開催H16.5.21

全12事業所中11事業所、19名参加

第18回開催H16.9.3

全12事業所中11事業所、18名参加

介護療養施設部会

部会長 桑野 みゆき

—第31回部会内容—

1. 8月病床利用状況
 2. 拡大運営会議の報告
 3. 問題点の検討
 - ①介護サービス計画書の作成について
(現任研修後のプラン作成の状況)
 - ・介護度が高い患者が多く、患者の意向や希望を取入れることは困難
 - ・重度介護者のサービス計画はなかなか進まない(離床を心掛けている)
 - ②ターミナル患者への対応(介護療養で受入れる問題点)
 - ・費用の問題(施設負担)
 - ・急変時の問題
- ※入院時又は安定期に主治医と家族で話してもらう
※急変時再度確認
※スタッフ教育(介護スタッフ)の推進

第31回開催H16.9.15

全4事業所中2事業所、5名参加

福祉用具部会

部会長 川上 徳高

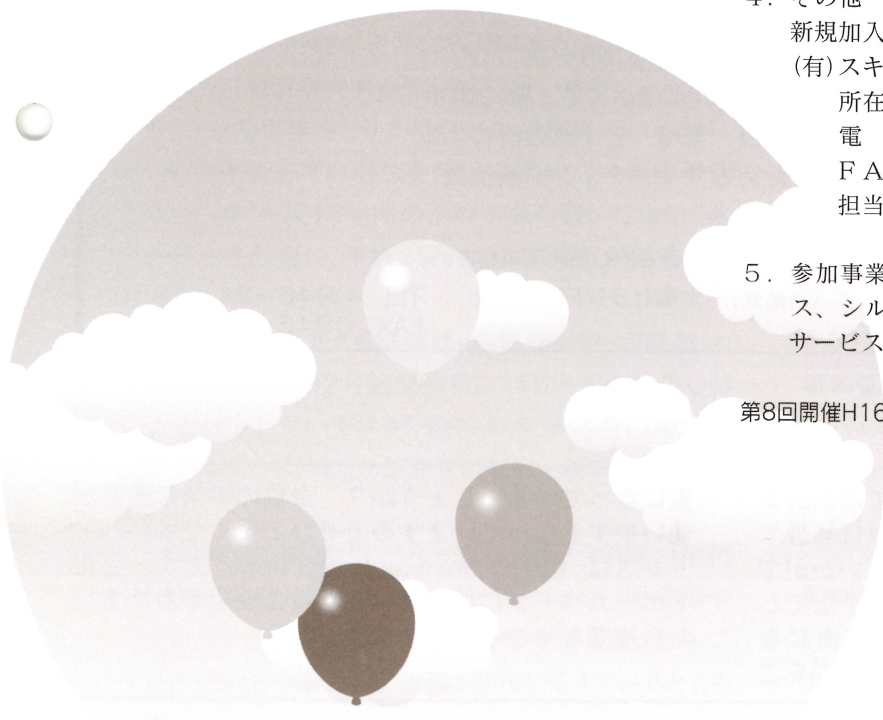
—第8回部会内容—

1. 福祉用具勉強会について
 - ①開催日時、場所が決定した。
 - ・日時 平成16年10月21日(木) 13:00~16:00予定
 - ・場所 三輪町「働く婦人の家」ホール
 - ②搬入/9:00より会場確保しておりその頃より実施。
 - ③講師/佐賀大学医学部教授 齋場 三十四先生
(依頼済み)

中身として、齋場教授による福祉用具選定や厚労省の情勢に関する勉強会を2時間くらい実施。質疑応答を行った後、各社が準備したフィッティング用の福祉用具スペース(5箇所)にてロールプレイで体験・研修していただく。会場は机・椅子をフルに使ったとして、200名収容可能。
また、各メーカーにも協賛を依頼し、機器や使用方法の説明を協力してもらう予定である。
※近日中に部会を開催し、具体的内容を詰めて協議会へ報告する予定。
2. 協議会設立記念事業について
 - ①日時 平成17年1月15・16日(土・日)に決定。
15日設営、16日開催。
 - ②場所 朝倉町民センター大ホール、エントランスホール。
 - ③内容 講演会、福祉用具展示、介護劇、健康チェック、介護用食事試食コーナー等の提案で広く地域住民への協議会活動の普及啓蒙活動を実施。
部会会員への協力要請をお願いした。
3. 拡大会議報告
資料等を配布し、経過報告を行った。
4. その他
新規加入事業者の紹介/
(有)スキップ 事業者番号4071801171
所在地：〒830-0045福岡県飯塚市大字花瀬156番地
電話：0948-21-3030
FAX：0948-21-3056
担当者：安川真一氏
5. 参加事業者/太陽セランド、九州ホームケアサービス、シルバーメイトウェルフェア、メインレンタルサービス、タイヘイ

第8回開催H16.8.27

全13事業所中6事業所、7名参加



訪問介護・グループホーム部会合同調理実習に参加して

グループホーム弘医荘 満生 さとみ

今回、調理実習【スピードクッキング】に初めて参加させていただきました。短時間内での調理に戸惑いもありましたが、うまく行動し調理することができました。周りの方々には、私より経験も経験年数も豊富で、実績を積まれた方々ばかりなので、手早さや技術においても学ぶことがたくさんありました。正直言って圧倒されました。

私は、グループホームに勤務していますが、私の働いている施設では、食事は栄養課で作っていただいているので、週に1度の入所者の方との調理の場でしか料理に参加することはありません。今回はヘルパーの方や、他のグループホームの方と一緒にスピードクッキングを学ばせていただいた事で、時間の大切さ、手早さ、作る側の大変さを実感させられました。今回参加し、実習させていただいたメニューは、どれもおいしくいただき、多くの手間もかからず素早く出来るものでした。私のグループでは山芋のすり流し汁と焼き茄子の出しかけでしたが、

山芋のすり流し汁はあっさりした味で、のどごしも良く、とても印象的でした。高齢者の方にも食べやすいメニューで喜んでもらえると思いました。ぜひ、施設で作ってみたいと思います。きっと入所者の方々も喜ばれると思います。この調理実習でグループを作っているんな方々と一緒に調理出来た事で、ヘルパーの方の時間を有効に活用する姿勢を強く感じました。また、グループの皆さんで作った料理を試食しながら色んな会話をし、交流が出来て本当に良かったと思います。

今回の調理実習に初めて参加させていただき、他の事業所の方々に圧倒されてしまい思うように行動できませんでした。参加して良かったと思います。今回学んだ事を私が勤務しているグループホームの中と、また日常生活の中でも生かして生きたいと思います。参加させていただきありがとうございました。

「福祉用具選定のためのフィッティング勉強会の案内」

甘木朝倉介護保険事業者協議会福祉用具部会主催の福祉用具選定のフィッティング勉強会を講師に佐賀大学医学部教授齋場三十四先生を招いて開催いたします。内容といたしましては齋場先生による福祉用具選定や厚生労働省の情勢に関する講義と、フィッティング用福祉用具にてロールプレイ体験の予定です。ご多忙とは思いますが皆様ぜひご参加ください。

記

日時	平成16年10月21日(木) 13:00~16:30
場所	三輪町働く婦人の家(とらいあんぐる三輪)2階ホール
内容	佐賀大学医学部教授 齋場 三十四教授による 福祉用具選定のためのフィッティング勉強会
参加費	無料

*参加される方は、福祉用具部会 太陽セランド株式会社 川上まで申し込んでください。

(連絡先) 太陽セランド株式会社 TEL 0946-21-5355
FAX 0946-21-4701

編集後記

会報が発行されるころには秋らしくなって運動会シーズンになっていると思います。今年の夏は猛暑でまた、台風の多い年でしたが、皆さん方はいかがでしたでしょうか。今号は、8ページで発行予定でしたが、原稿が集まらず6ページで発行することになりました。さて、皆さんは協議会ホームページをご

覧になっているでしょうか？ 会員の事業者検索が使いやすくなっていますのでぜひご覧ください。アドレスは (<http://www.aakaigo.net/>) です。会報・ホームページについてのご意見ご要望がありましたら遠慮なくご連絡ください。(秀)

事務局

甘木朝倉介護保険事業者協議会 事務局
〒838-0815 福岡県朝倉郡三輪町大字野町2226-3
介護老人福祉施設 朝倉苑内
TEL (0946)22-2881 FAX (0946)24-8322

編集 / 発行所

甘木朝倉介護保険事業者協議会 広報部
〒838-0069 福岡県甘木市大字春来春6-2
社団法人 甘木朝倉医師会 ヘルパーステーション内
TEL (0946)21-0066 FAX (0946)21-0012
印刷 / 井上総合印刷株式会社